

第2回発がん性評価ワーキンググループにおける試行的評価の対象物質

担当委員	No	通し番号		物質特定			発がん性評価										評価結果まとめ				詳細調査 備考-2			
		発がん性 調査 通し番号	受領デー タ 整理番号	CAS番号	物質名	英名	IARC			EPA		NTP		ACGIH		日本産業衛生学会		EU	評価の組合せ	評価の内容		対応	備考-1	追加文献 有無
							分類	評価年	vol	分類	評価年	分類	評価年	分類	評価年	分類	評価年	危険物標 令による分 類						
【1】 IARCのみ発がん性分類あり、IARCが1～2B以外、評価書未記載の文献あり																								
小野寺委員	1	C-1001	1	51-03-6	ピペロニルブ キンド	Piperonyl butoxide	3	1987	30, Sup 7	×	-	×	-	×	×	-	×	IARCのみ評価あり	IARCが1～2Bでない	文献収集(評価 書含む)		有		
【2】 他機関のみ発がん性分類あり、他機関がIARCの1～2B相当																								
津田委員	72	C-1072	DG-069	108-90-7	クロロベンゼン	Chlorobenzene	×			D	1986	×	-	A3	1996	×	-	×	他の機関のみ評価あり	ACGIHが1～2B相当	評価書入手		不要	
【3】 他機関のみ発がん性分類あり、他機関がIARCの1～2B相当以外、評価書未記載の文献あり																								
西川委員	101	C-1101	131	106-92-3	アリルグリシジ ルエーテル	Allyl glycidyl ether	×			×	-	×	-	A4	1990	×	-	3	他の機関のみ評価あり	ACGIH, EUとも1～2B 相当でない	文献収集(評価 書含む)		有	
【4】 両方の発がん性分類あり、IARCが1～2B以外、他機関がIARCの1～2B相当																								
吉田委員	28	C-1028	205	123-31-9	ヒドロキノン	Hydroquinone	3	1999	15, Sup 7, 71	×	-	×	-	A3	2008	×	-	3	両方評価あり	IARCは1～2Bでない が、ACGIHは1～2B 相当	両者の評価書を 入手		不要	
【5】 両方の発がん性分類あり、IARCが1～2B以外、他機関がIARCの1～2B相当以外、評価書未記載の文献あり																								
若林委員	41	C-1041	DG-037	106-42-3	p-キシレン	p-Xylene	3	1999	47, 71	1	2003	×	-	A4	1996	×	-	×	両方評価あり	IARCが1～2Bでなく、 EPA, ACGIHも同程度	文献収集(両者 の評価書含む)		有	